

Vol. 153

2017.4.14

理事長トーク Top Interview

新年度がはじまり

「運営方針のヒアリング」を行っています

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男



いよいよ平成29年度が始まりました。そして、グループの成績表とも言える、昨年度予算に対する結果がまとまりました。

健育会グループでは、将来のあるべき姿、理念の実現のための施策立案はもちろんのこと、管理会計の手法により、全ての病院・施設で予算管理を行っています。特に年度の予算については、それぞれの過去の実績はもとより、地域の高齢化率、人口動態、競合施設の情報等の精緻なデータ分析に基づいて策定されています。そして年度初めに策定された予算数値は単なる目標数値ではなく、各病院・施設が当該会計年度に**確実に達成しなければならない経営上のコミットメント**という意味合いを持っています。

このようにグループの運営上、最も重要な予算について、平成28年度は、以下の病院・施設が達成することができました。

病院

竹川病院
熱川温泉病院
西伊豆健育会病院
いわき湯本病院
花川病院
茅ヶ崎セントラルクリニック

介護施設

ケアセンターけやき
介護老人保健施設しおさい
ケアポート板橋
ひまわり在宅事業部
喬成会在宅事業部



予算を達成できたということは、職員全員がベクトルをあわせ、日々の業務を頑張った成果です。予算を大幅に達成することはもちろん素晴らしいことですが、皆で考え、私が承認し策定した予算を一円でも上回ることができれば、それは大変立派であると考えています。

また、予算を達成しなかった病院・施設の中には、私から見て予算の数値が高すぎたのではないかと感じたところもありました。例えば石巻健育会病院に関しては高い予算の中、健闘の末、惜しくも達成はなりませんでした。非常に努力をしていたと思います。適正な予算づくりはなかなか難しいと思いますが、「頑張れば達成が不可能でない、少し背伸びをした数値」とし、確実に達成して欲しいと考えています。

平成28年度については、予算を達成した病院・施設の貢献もあり、健育会グループ全体でも順調に終えることができました。

4月に入って平成29年度の目標と予算について、私と本部の部長が直接すべての病院・施設に赴きディスカッションを行う「運営方針のヒアリング」を行っています。

平成29年度 予算ヒアリングスケジュール

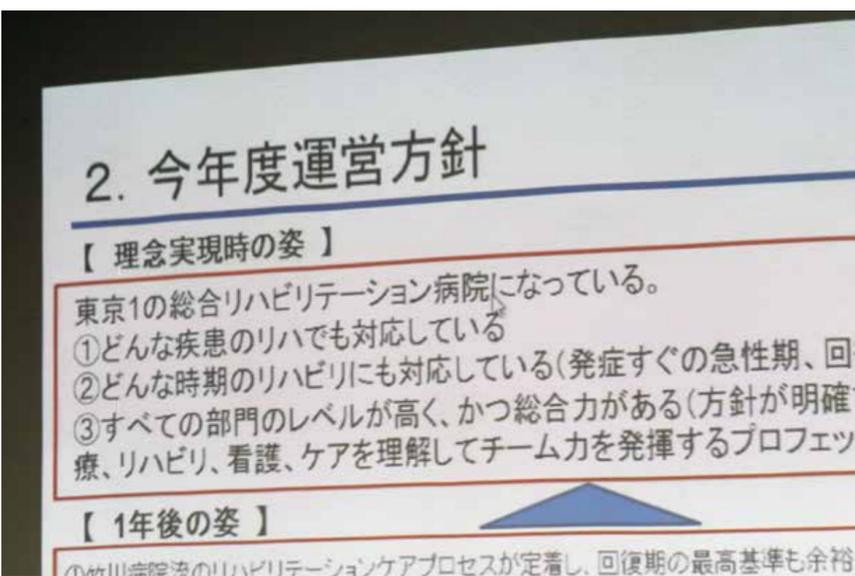
- 3月28日（火） ケアポート板橋
- 4月5日（水） 熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川、西伊豆健育会病院、しおさい
- 4月7日（金） いわき湯本病院
- 4月10日（月） ケアセンターけやき、竹川病院、ライフサポートひなた、石川島記念病院
- 4月12日（水） 石巻健育会病院、しおん、ひまわり在宅サポートグループ
- 4月14日（金） ライフケアガーデン湘南、茅ヶ崎セントラルクリニック
- 4月26日（水） 花川病院、喬成会在宅事業部

「運営方針のヒアリング」では、メディカルディレクターとマネージングディレクターはもとより、現場の各部門長から直接「理念実現時の自部署の姿」「一年後の姿」「一年後の姿に向けたアクション」についての具体的な説明を聞きくことを大切にしています。私が直接現場に出向き、皆さんと直接会って内容を確認するのは、ただ紙面上で確認するよりもより現場に即した情報を確認でき、また何より現場の皆さんの真剣度が伝わってくるからです。不明点があればその場で質問しながら、計画が適正かどうかを私が判断し、時には内容の再考を指示することもあります。





例えば4月10日（月）の「ケアセンターけやき」のヒアリングでは、通所介護、通所リハビリの「一年後の姿に向けたアクション」に営業の目標や教育の目標など職員側からの視点が挙げられていましたが、ご利用者に楽しんで通っていただくためのアクションが掲げられていませんでした。通所に関しては、「また来たい」と思っていただくことが何より大切ですから、**ご利用者視点の目標**も掲げるよう指示しました。



また「竹川病院」のヒアリングでは、都心部に回復期リハビリテーション病棟の競合やハイサービスの療養病床が増えてきている厳しい状況を踏まえて、どのように患者さん・ご家族の満足度を上げ**「選ばれる病院」**になっていくかということ、常に意識しながら行動するよう指示しました。



今年度は、4月1日に開院した東京都練馬区大泉学園の「ねりま健育会病院・介護老人保健施設ライフサポートねりま」、そして秋に開院予定の神奈川県藤沢市の「湘南慶育病院」がグループの仲間に加わります。私はこの2つの新しい病院・施設は、将来必ずや健育会グループを牽引する存在になっていくと確信しています。しかし、新しい病院・施設が地域に根ざし、経営を軌道に乗せていくためには時間が必要です。



4月3日 ねりま健育会病院・ライフサポートねりま 入社式



4月14日 着々と工事が進む湘南慶育病院（外観）

そのような中、健育会グループの既存病院・施設で働く職員の皆さんが高い使命感を持って、「運営方針のヒアリング」で確認した「理念達成時の姿」「1年後の姿」を現実のものとするために行動し、予算を確実に達成していくことが、間接的にはありますが新しい病院・施設をサポートすることにも繋がります。

今年のグループのキャッチフレーズ「一人ひとりの使命感が、ビジョン実現の原動力です。」としています。新しい年度も職員の皆さんと共に高い使命感を持ち、日々邁進していきたいと考えています。